

(別紙4(2))

事業所名 グループホームやすらぎ荘

## 目標達成計画

作成日: 平成 28 年 8 月 4 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	33	グループホームでも重度化や終末期に対する心構えが必要になってきている。高齢で徐々に医療依存度が高くなる利用者も増え、心配はあり。介護スタッフだけの現場では医療知識が十分ではない。	医療面でのスキルアップを図る。状況に応じての判断ができ、緊急時でも素早い対応ができる。今後も日頃の利用者の様子をしっかりと観察し、状況把握に努めていく。	医療知識に関する研修。看取り支援の心構えや実際の対応等を職員と一緒に考え、職員会議等で話し合う。緊急時の対応を常に目につく所に掲示する。マニュアルを作成する。 12ヶ月
2	26	本人がより良く暮らすために、職員でアイデアを出し合い、ケアプランを作成している。より良い個別ケアが出来るようにスタッフと検討し、ケアプランに反映させていきたい。	本人の状況が変わった場合、その都度、モニタリングしてはいるが、定期的に(1ヶ月に1度ぐらい)に作成していく。	もう少し、記入しやすいモニタリングの様式を作成し、全ての職員で共有する。 12ヶ月
3	36	居室トイレではなく、共同のトイレ内に置いてあるボックスに個人名が記入してあった。	トイレ内にあるボックスは、他の人に使用されないように、名前を記入していた。プライベートな場所なので、配慮が足りなかった。ボックスの名前を伏せ、かわいいイラストを入れて何が入っているのか分からないように工夫している。	一人ひとりの人格を尊重し、プライバシーを損ねないように、言葉かけや対応をしている。環境面にももっと配慮していく。 12ヶ月
4				ヶ月
5				ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。